



## ライセンスの追加

ネットワークの管理に必要な Cisco Prime Infrastructure の機能にアクセスするには、ライセンスを購入する必要があります。また、各ライセンスは、これらの機能を使用して管理できるデバイスの数を制御します。

基本ライセンスおよび、決まった数のデバイスを管理するためのそれぞれの Prime Infrastructure 機能へのフルアクセスを取得するために対応する機能ライセンス(保証やライフサイクルのライセンスなど)が必要です。

初めて Prime Infrastructure をインストールする場合は、デフォルトで使用できる組み込みの評価ライセンスを使用して、ライフサイクル、保証、コレクタ、およびデータセンターの機能にアクセスできます。デフォルトの評価の制限事項は次のとおりです。

- ライフサイクルおよび保証のライセンスは、100 台のデバイスで 60 日間有効です。
- コレクタ ライセンスは、毎秒 20,000 Netflow で 60 日間有効です。
- データセンター ライセンスは、10 台のデバイスで 60 日間有効です。

データセンター ハイパーバイザ ライセンスは、Prime Infrastructure バージョン 3.0 に導入されています。このライセンスは、デフォルトでは使用できず、V-center デバイス(ホスト)を管理するために明示的に追加されます。V-center デバイスは、[インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [コンピューティング デバイス (Compute Devices)] > [Discovery ソース (Discovery Sources)] で追加されます。[管理 (Administration)] > [ライセンスおよびソフトウェア アップデート (Licenses and Software Updates)] > [ライセンス (Licenses)] > [ファイル (Files)] > [ライセンスファイル (License Files)] に追加されたデータセンター ハイパーバイザ ライセンスによって、ホストの数が自動的に管理されます。

Prime Infrastructure のライセンスの種類と注文方法については、『[Cisco Prime Infrastructure 3.0 Ordering and Licensing Guide](#)』を参照してください。

ライセンスの管理、ライセンス問題のトラブルシューティング、ライセンスの詳細の確認に関する詳細、および他のライセンスの種類については、『[Cisco Prime Infrastructure 3.0 Administrator Guide](#)』を参照してください。

## 機能にアクセスするためのライセンスの追加

ライセンスは、ネットワークの管理に必要な Prime Infrastructure の機能にアクセスするために購入します。各ライセンスは、ユーザがそれらの機能を使用して管理できるデバイスの数や NetFlow が有効になっているデバイスの数の制御も行います。

新しいライセンスを追加するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1 [管理 (Administration)] > [ライセンスとソフトウェア アップデート (Licenses and Software Updates)] > [ライセンス (Licenses)] の順に選択します。
  - ステップ 2 [ファイル (Files)] をクリックし、[ライセンス ファイル (License Files)] をクリックします。
  - ステップ 3 必要なデバイス制限を適用して注文したライセンスを選択し、[追加 (Add)] をクリックします。
  - ステップ 4 ライセンス ファイルの場所を参照し、[OK] をクリックします。
- 

ライセンスの管理、ライセンスの削除、ライセンス問題のトラブルシューティング、およびライセンスの詳細の確認に関する詳細については、『[Cisco Prime Infrastructure 3.0 Administrator Guide](#)』を参照してください。